

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月22日		記入者	内線	2154
部 名	企画部	課 名	文化国際課	課長名	江成朱美
事務事業名	友好都市交流事業				
予算上の事務事業名	国際交流事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		18120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第8章 国際平和と人権が尊重される社会を実現します				
基本施策名	第1節 世界とともに生きる地域社会の実現				事業開始年度
施 策 名	第2施策 国際交流・国際協力の推進				平成10年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市国際化推進事業支援金交付要綱、相模原市国際化推進事業支援金交付要綱取扱基準 さがみはら国際プラン（平成6年3月策定）					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	さがみはら国際プラン		地域の国際化の進展に対応するため、世界に開かれた地域社会の形成を図るよう、21世紀を展望した長期プラン。		
計画年次	平成6	年度～		年度	
4 事業形態の区分 計画の策定・推進 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的（何のために行うのかまたはもたらしたい成果）			(2) 対象（誰、何）		
「相模原市国際交流基金」の運用益を活用し、相模原市民の国際理解を深め、国際協調を促進し、地域の国際化を推進する活動を積極的に支援するため、相模原市内に活動拠点を有する市民団体が主体的に企画し実施する事業に対し、相模原市が支援金を交付する。			市民団体		
(3) 平成16年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。					
対象となる事業と交付額					
(1) 国外派遣事業（市民団体が、訪問団を国外に派遣する事業） 一人5千円（1事業につき10万円以下）					
(2) 国内交流事業（諸外国から招聘した訪日団又は外国籍の相模原市民と交流する事業） 事業費の3分の1以内で15万円以下					
(3) 国際協力事業（国外への人的・物的支援を目的とする事業） 事業費の3分の1以内で15万円以下					
6 関連・類似事業や他市の状況					
神奈川県内市の状況 川崎市国際交流協会 文化・スポーツ交流活動を推進する民間団体に補助金を交付 厚木市 外国人支援及び国際協力の推進を図るものについて市民活動を行う団体に交付 鎌倉市 姉妹都市親善訪問奨励金、国際交流事業等奨励金の交付					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	1,054	584	774	1,900	900
一般財源	940	365	401	1,400	750
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	114	219	373	500	150
人件費の合計	95	41	72	204	92
事業コスト合計(a)	1,149	625	846	2,104	992
8 事業効率・・・（複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業）					
主たる事業名	相模原市国際化推進事業支援金			対象名称 (単位)	交付件数(件)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	1,149	625	846	2,104	992
対象数	9	4	7	19	9
単位あたり経費(円)	127,667	156,250	120,857	110,737	110,222
前年度比		1.22	0.77	0.92	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	交付金額(千円)		指標式と指標の説明	交付金額	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	1,054.0	584.0	846.0		
目標	1,500.0	1,200.0	1,200.0	1,900.0	0.0
目標達成度	0.70	0.49	0.71		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	交付実績の増加率(%)		指標式と指標の説明	前年度を100とした場合の当該年度の割合	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	45.8	55.4	144.8		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	45.8	55.4	144.8		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		市民と行政の協働を意識し、今後の体制につき工夫しつつ、事業の展開をする。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 市民自らが企画し、市民を対象とした事業を更に支援するため、市ホームページなどを利用して支援金交付事業を市民に対し積極的に広報していく。			14 課題として認識されたこと 本事業の市民に対する周知方法。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			